

2010年8月13日

## マスミューチュアル生命 2010年度第1四半期業績のお知らせ

マスミューチュアル生命保険株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:溝口賢典)の2010年度第1四半期(2010年4月1日~2010年6月30日)の業績につきまして、以下のとおりお知らせいたします。

### 2010年度第1四半期業績

1. 主要業績	……2頁
2. 資産運用の実績(一般勘定)	……4頁
3. 四半期貸借対照表	……7頁
4. 四半期損益計算書	……8頁
5. 経常利益等の明細(基礎利益)	……11頁
6. ソルベンシー・マージン比率	……12頁
7. 特別勘定の状況	……13頁
【参考】証券化商品等への投資状況	……14頁

# マスミューチュアル生命について

MassMutual Life Insurance Company

「マスミューチュアル生命」は、米国総合金融グループ「マスミューチュアル・フィナンシャル・グループ」の一員です。

## 格付けについて

当社はスタンダード&プアーズ社(S&P)より保険財務力格付けにおいて「AA」の評価を受けています。



保険財務力格付け  
スタンダード&プアーズ社

※上記の格付けは 2010 年 8 月 12 日現在の評価であり、将来的に変更される可能性があります。また、格付けは格付会社の意見であり、保険金支払などについて格付会社が保証を行うものではありません。

マスミューチュアル生命の URL: [www.massmutual.co.jp](http://www.massmutual.co.jp)

## マスミューチュアル・フィナンシャル・グループについて

マサチューセッツ・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニー(米国マスミューチュアル)は、1851 年創業の大手生命保険相互会社であり、会員及び利益配当付保険契約者のために運営されています。当社はその長い歴史にわたって健全な財務体質と好調な業績を維持しており、配当保証はしていませんが、1860 年代以降、適格利益配当付保険契約者に対し毎年配当を実施してきました。米国マスミューチュアルでは、終身生命保険をベースとしつつ生命保険、障害者所得保険、長期介護保険、退職/401(k)プランニングサービス、年金保険などお客様の金融ニーズに合わせた商品を提供しています。さらに、拡大する当社の強力な金融専門家のネットワークにより、お客様が財産を長期的に管理される上での確な決断を下されるよう助力しています。

「マスミューチュアル・フィナンシャル・グループ」は、米国マスミューチュアルならびにその関係会社および販売代理店を指すマーケティング・ネームです。米国マスミューチュアルはマサチューセッツ州スプリングフィールドに本拠を有しており、主要関係会社には、バブソン・キャピタル・マネジメン・LLC、ベアリング・アセット・マネジメン・リミテッド、コーナーストーン・リアルエステート・アドバイザーズ・LLC、ザ・ファースト・マーカンタイル・トラスト・カンパニー、マスミューチュアル・インターナショナル・LLC、MML・インベスターズ・サービス・インク、メンバーズ FINRA & SIPC、オープンハイマー・ファンド・インク、ザ・マスミューチュアル・トラスト・カンパニー・FSB が含まれます。

マスミューチュアル・フィナンシャル・グループの URL: [www.massmutual.com](http://www.massmutual.com)

## マサチューセッツ・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーの格付け



保険財務力格付け  
スタンダード&プアーズ社

※上記の格付けは 2010 年 8 月 12 日現在の評価であり、将来的に変更される可能性があります。

# 1. 主要業績

## (1) 保有契約高及び新契約高

### ・保有契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	2010年度 第1四半期会計期間末				2009年度末	
	件 数	金 額		件 数	金 額	
		前年度 末比	前年度 末比			
個 人 保 険	205	97.0	16,125	96.7	212	16,675
個 人 年 金 保 険	105	100.8	8,509	99.7	104	8,533
団 体 保 険	-	-	0	96.5	-	0
団 体 年 金 保 険	-	-	17	90.2	-	19

- (注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資(ただし、個人変額年金保険については保険料積立金)と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。  
2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

### ・新契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	2009年度 第1四半期累計期間				2010年度 第1四半期累計期間					
	件 数	金 額		件 数	前年 同期比	金 額				
		新契約	転換による 純増加			前年 同期比	新契約	転換による 純増加		
個 人 保 険	3	217	221	△ 4	2	60.1	370	170.7	370	-
個 人 年 金 保 険	1	219	220	△ 1	1	95.7	148	68.0	148	-
団 体 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団 体 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- (注) 1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。  
2. 新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資(ただし、個人変額年金保険については基本給付金(一時払保険料相当額))です。

## (2)年換算保険料

・保有契約

(単位:億円、%)

区 分	2010年度 第1四半期会計期間末		2009年度末
		前年度 末比	
個 人 保 険	819	101.3	808
個 人 年 金 保 険	1,775	98.5	1,802
合 計	2,594	99.4	2,611
うち医療保障・ 生前給付保障等	197	111.1	177

・新契約

(単位:億円、%)

区 分	2009年度 第1四半期累計期間	2010年度 第1四半期累計期間	
			前年 同期比
個 人 保 険	28	54	187.2
個 人 年 金 保 険	140	69	49.7
合 計	169	124	73.2
うち医療保障・ 生前給付保障等	15	24	159.1

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. うち医療保障・生前給付保障等欄の金額には、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。
3. 新契約の年換算保険料において、転換契約については転換純増に係る年換算保険料を計上しています。

## 2. 資産運用の実績（一般勘定）

### (1) 資産の構成

(単位:百万円、%)

区 分	2010年度 第1四半期会計期間末		2009年度末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金・コ ー ル ロ ー ン	13,320	1.0	33,348	2.4
買 現 先 勘 定	-	-	-	-
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	-	-	-	-
買 入 金 銭 債 権	235,673	17.1	237,888	17.3
商 品 有 価 証 券	-	-	-	-
金 銭 の 信 託	-	-	-	-
有 価 証 券	1,046,079	75.9	1,032,000	75.0
公 社 債	770,183	55.9	754,745	54.9
株 式	53	0.0	54	0.0
外 国 証 券	270,023	19.6	270,549	19.7
公 社 債	255,288	18.5	255,397	18.6
株 式 等	14,735	1.1	15,152	1.1
そ の 他 の 証 券	5,819	0.4	6,650	0.5
貸 付 金	19,381	1.4	19,878	1.4
不 動 産	3,230	0.2	3,438	0.2
繰 延 税 金 資 産	6,824	0.5	9,923	0.7
そ の 他	54,803	4.0	40,174	2.9
貸 倒 引 当 金	△ 1,681	△ 0.1	△ 975	△ 0.1
合 計	1,377,632	100.0	1,375,676	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	112,099	8.1	118,123	8.6

(注)「不動産」については土地・建物を合計した金額を計上しております。

(2) 有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位:百万円)

区 分	2010年度第1四半期会計期間末					2009年度末				
	帳簿価額	時 価	差損益			帳簿価額	時 価	差損益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	289,757	292,116	2,358	5,915	3,557	274,062	272,955	△ 1,107	3,090	4,198
責任準備金対応債券	735,806	768,458	32,652	33,295	643	678,380	676,028	△ 2,352	5,695	8,047
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の有価証券	248,872	249,511	639	8,696	8,056	308,741	310,596	1,854	8,019	6,165
公 社 債	93,616	96,763	3,147	3,935	788	145,908	146,715	807	1,801	994
株 式	8	13	5	7	1	8	14	6	8	2
外 国 証 券	133,741	132,521	△ 1,220	4,383	5,603	139,466	141,750	2,284	6,045	3,761
公 社 債	128,040	127,244	△ 796	4,065	4,861	133,523	136,198	2,674	5,718	3,043
株 式 等	5,701	5,276	△ 424	317	741	5,942	5,552	△ 390	327	717
その他の証券	4,209	3,550	△ 659	53	713	4,708	4,351	△ 357	123	481
買入金銭債権	17,295	16,662	△ 633	315	949	18,649	17,763	△ 885	41	926
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	1,274,436	1,310,087	35,650	47,908	12,257	1,261,184	1,259,579	△ 1,604	16,806	18,411
公 社 債	767,036	799,612	32,576	33,872	1,296	753,938	750,371	△ 3,566	5,466	9,032
株 式	8	13	5	7	1	8	14	6	8	2
外 国 証 券	266,875	269,314	2,438	9,017	6,578	263,755	268,134	4,378	9,198	4,819
公 社 債	256,084	259,286	3,202	8,699	5,497	252,723	257,953	5,230	8,870	3,640
株 式 等	10,791	10,027	△ 763	317	1,081	11,032	10,180	△ 851	327	1,179
その他の証券	4,209	3,550	△ 659	53	713	4,708	4,351	△ 357	123	481
買入金銭債権	236,307	237,596	1,288	4,956	3,667	238,773	236,708	△ 2,065	2,010	4,075
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位:百万円)

区 分	2010年度 第1四半期会計期間末	2009年度末
満期保有目的の債券	-	-
非上場外国債券	-	-
その他	-	-
責任準備金対応債券	-	-
子会社・関連会社株式	-	-
その他の有価証券	7,517	7,456
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	39	40
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	-	-
非上場外国債券	-	-
その他	7,478	7,416
合 計	7,517	7,456

(3) 金銭の信託の時価情報

(単位:百万円)

区 分	2010年度第1四半期会計期間末				
	貸借対照表計上額	時 価	差損益		
			差益	差損	
金 銭 の 信 託	-	-	-	-	-

2009年度末				
貸借対照表計上額	時 価	差損益		
		差益	差損	
-	-	-	-	-

・運用目的の金銭の信託

(単位:百万円)

区 分	2010年度第1四半期会計期間末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
運 用 目 的 の 金 銭 の 信 託	-	-

2009年度末	
貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
-	-

・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

(単位:百万円)

区 分	2010年度第1四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差損益		
			差益	差損	
満期保有目的の金銭の信託	-	-	-	-	-
責任準備金対応の金銭の信託	-	-	-	-	-
その他の金銭の信託	-	-	-	-	-

2009年度末				
帳簿価額	時 価	差損益		
		差益	差損	
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

### 3. 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	期 別	2010年度	2009年度末
		第1四半期会計期間末 (2010年6月30日現在)	要約貸借対照表 (2010年3月31日現在)
		金 額	金 額
(資産の部)			
現金及び預貯金		11,729	15,481
コールローン		2,000	20,000
買入金銭債権		235,673	237,888
有価証券		1,080,642	1,065,148
	(うち国債)	(322,904)	(355,277)
	(うち地方債)	(23,034)	(24,235)
	(うち社債)	(424,243)	(375,232)
	(うち株式)	(53)	(54)
	(うち外国証券)	(270,023)	(270,549)
貸付金		19,381	19,878
保険約款貸付金		10,320	10,625
一般貸付金		9,061	9,253
有形固定資産		3,416	3,621
無形固定資産		964	983
再保		458	280
その他の資産		53,221	38,728
繰延税金資産		6,824	9,923
貸倒引当金		△ 1,681	△ 975
資産の部合計		1,412,633	1,410,957
(負債の部)			
保険契約準備金		1,254,582	1,255,649
支払準備金		9,027	8,724
責任準備金		1,243,196	1,244,473
契約者配当準備金		2,358	2,451
再保		607	648
その他の負債		116,263	117,958
未払法人税等		2	17
その他の負債		116,261	117,941
退職給付引当金		744	667
役員退職慰労引当金		80	61
事業再編引当金		472	530
特別法上の準備金		2,887	2,811
価格変動準備金		2,887	2,811
負債の部合計		1,375,638	1,378,328
(純資産の部)			
資本		30,519	30,519
資本剰余金		17,481	17,481
資本準備金		17,481	17,481
利益剰余金		△ 22,654	△ 25,500
利益準備金		43	43
その他利益剰余金		△ 22,698	△ 25,543
退職手当積立金		49	49
配当積立金		13	13
別途積立金		300	300
繰越利益剰余金		△ 23,060	△ 25,905
自己株式		△ 5	△ 5
株主資本合計		25,340	22,495
その他有価証券評価差額金		△ 679	163
繰延ヘッジ損益		12,333	9,970
評価・換算差額等合計		11,654	10,134
純資産の部合計		36,994	32,629
負債及び純資産の部合計		1,412,633	1,410,957



#### 4. 四半期損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	2009年度	2010年度
		第1四半期累計期間 〔 2009年4月1日から 2009年6月30日まで 〕	第1四半期累計期間 〔 2010年4月1日から 2010年6月30日まで 〕
		金 額	金 額
<b>経 常 収 益</b>		54,579	55,782
保 険 料 等 収 入		41,152	35,153
(うち保険料)		(40,827)	(34,695)
資 産 運 用 収 益		12,359	18,250
(うち利息及び配当金等収入)		(7,497)	(8,388)
(うち有価証券売却益)		(81)	(1,184)
(うち金融派生商品収益)		(2,572)	(8,591)
そ の 他 経 常 収 益		1,066	2,377
(うち責任準備金戻入額)		(-)	(1,277)
<b>経 常 費 用</b>		49,253	50,498
保 険 金 等 支 払 金		26,754	36,417
(うち保険金)		(3,389)	(3,028)
(うち年金)		(4,732)	(6,175)
(うち給付金)		(7,007)	(7,786)
(うち解約返戻金)		(10,653)	(18,297)
(うちその他返戻金)		(353)	(521)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		16,264	303
支 払 備 金 繰 入 額		1,117	303
責 任 準 備 金 繰 入 額		15,146	-
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		0	0
資 産 運 用 費 用		1,761	9,446
(うち支払利息)		(11)	(28)
(うち有価証券売却損)		(936)	(365)
(うち有価証券評価損)		(380)	(0)
(うち特別勘定資産運用損)		(-)	(2,916)
事 業 費 用		4,056	3,890
そ の 他 経 常 費 用		415	440
<b>経 常 利 益</b>		5,325	5,284
<b>特 別 利 益</b>		48	57
貸 倒 引 当 金 戻 入 額		48	-
事 業 再 編 引 当 金 戻 入 額		-	57
<b>特 別 損 失</b>		281	323
固 定 資 産 等 処 分 損		216	0
減 損 損 失		-	190
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		64	76
そ の 他 特 別 損 失		-	57
<b>税 引 前 四 半 期 純 利 益</b>		5,093	5,017
法 人 税 及 び 住 民 税		5	2
法 人 税 等 調 整 額		1,170	2,169
法 人 税 等 合 計		1,175	2,172
<b>四 半 期 純 利 益</b>		3,917	2,845

## 注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

1. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の貸借対照表価額は、75,715百万円であります。

2. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

前事業年度末現在高	2,451百万円
当第1四半期累計期間契約者配当金支払額	92百万円
利息による増加等	0百万円
契約者配当準備金繰入額	-百万円
当第1四半期会計期間末現在高	2,358百万円

3. 担保に供されている資産の額は、有価証券534百万円であります。

4. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

(単位：千株)

	当四半期 会計期間末 株式数
発行済株式	
普通株式	174
合計	174
自己株式	
普通株式	0
合計	0

5. 金額の記載単位未満は、切捨てて表示しております。

(四半期損益計算書関係)

1. 1株当たり四半期純利益は16,294円17銭であります。

なお、算定上の基礎である四半期純利益は2,845百万円、普通株式の期中平均株式数は174千株であります。潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 当第1四半期累計期間における固定資産の減損損失に関する事項は、次のとおりであります。

(1) 資産のグルーピング方法

保有している不動産については、地域ごとに継続的な収支管理を行っており、他地域の資産又は資産グループのキャッシュ・フローから概ね独立したキャッシュ・フロー生成単位であることから、同一地域内に存在する物件群を1つの資産グループとしております。

(2) 減損損失の認識に至った経緯

一部の資産グループについて、賃貸用不動産に係る賃料水準及び稼働率の低下が見られたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

(3) 減損損失を認識した資産グループと減損損失計上額の固定資産の種類ごとの内訳

主な用途	種類	場所	減損損失
賃貸用不動産等	土地及び建物	神奈川県横浜市	190百万円

(4) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、物件により正味売却価額又は使用価値を適用しております。

なお、正味売却価額については、不動産鑑定評価基準に基づく評価額から処分費用見込額を差し引いて算定しております。また、使用価値については将来キャッシュ・フローを4.0%で割り引いて算定しております。

## 5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	2009年度 第1四半期累計期間	2010年度 第1四半期累計期間
基礎利益 A	1,846	2,175
キャピタル収益	5,344	10,035
金銭の信託運用益	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	81	1,184
金融派生商品収益	2,572	8,591
為替差益	-	-
その他キャピタル収益	2,691	259
キャピタル費用	1,727	6,218
金銭の信託運用損	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	936	365
有価証券評価損	380	0
金融派生商品費用	-	-
為替差損	85	5,220
その他キャピタル費用	325	632
キャピタル損益 B	3,617	3,816
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	5,463	5,992
臨時収益	-	-
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	-	-
その他臨時収益	-	-
臨時費用	137	707
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	137	2
個別貸倒引当金繰入額	-	705
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	-	-
臨時損益 C	△ 137	△ 707
経常利益 A+B+C	5,325	5,284

（参考）その他キャピタル収益・費用の内訳

	2009年度 第1四半期累計期間	2010年度 第1四半期累計期間
その他キャピタル収益	2,691	259
責任準備金戻入額(キャピタル収益該当分)	2,691	259
その他キャピタル費用	325	632
責任準備金繰入額(キャピタル費用該当分)	7	496
買入金銭債権評価損	318	135

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項 目	2010年度 第1四半期 会計期間末	2009年度末
<b>ソルベンシー・マージン総額 (A)</b>	60,088	57,396
資本金等	25,340	22,495
価格変動準備金	2,887	2,811
危険準備金	8,437	8,434
一般貸倒引当金	0	0
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	△ 658	610
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 502	△ 684
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	24,584	23,729
負債性資本調達手段等	-	-
控除項目	-	-
その他	-	-
<b>リスクの合計額 <math>\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4</math> (B)</b>	17,102	16,045
保険リスク相当額 R1	6,983	7,026
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	463	457
予定利率リスク相当額 R2	3,165	3,179
資産運用リスク相当額 R3	11,407	10,231
経営管理リスク相当額 R4	663	628
最低保証リスク相当額 R7	82	67
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	702.6%	715.4%

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています(「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は告示第50号第1条第3項第1号に基づいて算出しています)。  
 2. 資本金等には、保険業法施行規則第86条第1項第1号に規定する額を計上しています。  
 3. 最低保証リスク相当額R7は、標準的方式により算出しています。

## 7. 特別勘定の状況

### (1) 特別勘定資産残高の状況

(単位:百万円)

区 分	2010年度 第1四半期会計期間末		2009年度末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険		1,593		1,579
個人変額年金保険		33,426		33,724
団体年金保険		-		-
特別勘定計		35,019		35,304

### (2) 保有契約高

#### ・個人変額保険

(単位:千件、百万円)

区 分	2010年度 第1四半期会計期間末		2009年度末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険(有期型)	-	-	-	-
変額保険(終身型)	0	2,163	0	1,736
合 計	0	2,163	0	1,736

#### ・個人変額年金保険

(単位:千件、百万円)

区 分	2010年度 第1四半期会計期間末		2009年度末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	2	33,496	2	36,940
合 計	2	33,496	2	36,940

【参考】証券化商品等への投資状況

以下の項目は、金融安定化フォーラム(FSF)の報告書を踏まえ、2010年度第1四半期末の証券化商品等への投資状況について記載したものです。

・証券化商品等への投資状況

＜証券タイプ別、格付別残高(時価ベース)及び損益の状況＞

(単位:百万円)

証券タイプ	2010年度第1四半期会計期間末							合計	占率	含み損益	実現損益
	AAA	AA	A	BBB	BB以下	その他					
1特別目的事業体(SPEs)一般	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
a) ABCP	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
b) SIV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2債務担保債券(CDO)	-	-	-	-	334	377	712	0.1%	572	-	-
a) ABS-CDO	-	-	-	-	334	185	520	0.1%	421	-	-
b) CLO	-	-	-	-	-	191	191	0.0%	150	-	-
c) CBO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3商業用不動産担保証券(CMBS)	13,323	17,509	8,516	9,816	9,672	954	59,792	11.9%	△ 4,098	-	-
4レバレッジド・ファイナンス及び類似のリスクの高いローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5その他	371,294	12,101	24,931	18,608	9,663	3,341	439,940	87.9%	12,048	△ 62	-
a) 住宅ローン債権担保証券(RMBS)	340,841	11,220	4,192	3,679	47	2,437	362,417	72.4%	11,266	-	-
うち 住宅金融支援機構債	171,159	-	-	-	-	-	171,159	34.2%	5,945	-	-
うち 米国政府系機関債等	-	-	-	-	-	2,437	2,437	0.5%	△ 211	-	-
b) その他のABS	30,452	405	2,838	662	231	-	34,590	6.9%	16	△ 135	-
c) Call Option付債券	-	476	17,900	14,266	9,384	904	42,931	8.6%	765	72	-
合計	384,617	29,610	33,447	28,424	19,671	4,673	500,444	100.0%	8,522	△ 62	-
占率	76.9%	5.9%	6.7%	5.7%	3.9%	0.9%	100.0%				
うちサブプライム関連投資	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

＜クレジット・デフォルト・スワップ(CDS)の格付別想定元本及び損益の状況＞

(単位:百万円)

クレジット・デフォルト・スワップ(売建)	2010年度第1四半期会計期間末						合計	占率	含み損益	実現損益
	AAA	AA	A	BBB	BB以下	その他				
クレジット・デフォルト・スワップ(売建)	-	10,649	15,200	4,942	-	-	30,791	100.0%	367	△ 8
占率	-	34.6%	49.4%	16.1%	-	-	100.0%			
うちサブプライム関連のCDS売建取引	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※⑤その他のc) Call Option付債券のその他904百万円のうち903百万円は、邦銀の海外関連会社に対する優先出資証券です。

※裏付資産は、次のとおりです。ABCPは国内の売掛債権・入居保証金等、ABS-CDOは米国、CLOは欧州、商業用不動産担保証券は国内の不動産(オフィス、商業施設、賃貸住宅等)、住宅ローン債権担保証券は国内又は米国の住宅ローン、その他のABSは国内のオートローン等貸付債権・リース債権等、クレジット・デフォルト・スワップ(売建)の参照企業は国内の企業です。

※実現損益は2010年度期首から第1四半期末までの売却損益及び減損額です。

※格付は格付投資情報センター、日本格付研究所、ムーディーズ、スタンダード・アンド・プアーズの長期格付を記載しています。複数の格付がある場合は、最も低い格付で記載しています。

【用語説明】

ABCP (Asset Backed Commercial Paper) : 資産担保コマーシャルペーパー  
 ABS (Asset Backed Security) : 資産担保証券  
 ABS-CDO (ABS-Collateralized Debt Obligation) : ABS(資産担保証券)を裏付資産として発行される債務担保証券  
 CBO (Collateralized Bond Obligation) : 債券担保証券(債券を裏付資産として証券化した債務担保証券)  
 CDO (Collateralized Debt Obligation) : 債務担保証券(債券やローンなどから構成される資産を裏付資産として証券化した債務担保証券)  
 CDS (Credit Default Swap) : クレジット・デフォルト・スワップ(債務者の信用リスクを対象とする「プロテクション」を売買するデリバティブ取引)  
 CLO (Collateralized Loan Obligation) : ローン担保証券(ローンを裏付資産として証券化した債務担保証券)  
 CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities) : 商業用不動産担保証券(商業用不動産を裏付資産として証券化した資産担保証券)  
 RMBS (Residential Mortgage Backed Securities) : 住宅ローン債権担保証券(住宅ローンを裏付資産として証券化した資産担保証券)  
 サブプライムローン: 過去に延滞や破産経験があり、資産や所得と比べた負債水準が高いといった事情により優遇金利(プライム)市場で融資が受けられない借手を対象とした個人向けのローンのことで、通常のローンと比べて審査基準はゆるいが、金利は高い  
 Call Option付債券: 発行体に期日前償還できる権利が与えられている債券  
 レバレッジド・ファイナンス: 企業・事業の買収の際に提供される、主に被買収企業のキャッシュフローに依存したファイナンス